

# いっしょに 飯南



いinanちよう

飯南町広報

平成19年8月20日 No.32



## 8月号

和牛とともに 全国和牛能力共進会へ挑む  
まちの話題・町のうごき など

県民の森(小田)で楽しい野外キャンプ

# 全国和牛能力共進会へ挑む

全国の農家が一堂に会して、和牛改良の成果を競う「第9回全国和牛能力共進会」が、10月9日から鳥取県で開催されます。それに行われ、飯南町からも念願の代表牛が3頭選抜されました。現在、大会に向けて万全の体調で出場できるよう、飼育農家、和牛改良組合、JA等、関係機関が一丸となって飼育管理に取り組んでいます。



緊迫した雰囲気は漂う「最終審査会」

## 和牛とともに

### 全国和牛能力共進会(全共)とは

「和牛のオリンピック」とも称されるこの大会は、5年に1度、全国の優秀な和牛黒毛和種牛が一堂に会してその優劣を競います。

大会は9つの区に分かれており、その中で更に雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」、肉質を競う「肉牛の部」があります。各道府県から数百頭の和牛が選抜され、それぞれの部で頂点を目指します。

審査結果が各県の和牛のブランド化に大きく影響するだけに、和牛関係者にとっては、まさに威信をかけた重要な大会です。

### 総合評価群区(第7区)に選抜された飯南町代表牛

総合評価群区は、種牛(4頭セット)と肉牛(3頭セット)の両方の成績で、総合的な評価が行われる区です。

「大会の花形出品区」とも言われる同区の審査結果は、県の和牛に対するブランドイメージや価格に大きな影響を与えるため、今後の情勢を占う意味でも大切な区です。

同区の代表牛として、飯南町から種牛2頭、肉牛1頭が代表牛として選ばれました。



牛の調教 一本の紐で動きを牛に伝えます

## 全共に出場する生産者の声

### なつこの4号 たけひめ号 徳福号



飯島 忠さん 道恵さん (下赤名)

父の代から畜産を始めたので、私は2代目です。最初は、共進会を目指そうとは思っていませんでしたが、知人の勧めで頑張ってみることにしました。

牛を育てるのは大変ですが、全共に出すのは、本当にプレッシャーがかかりますが、育てていることも愛着がわいてきます。

私の牛は、背中が少し曲がっているのですが、本番までに何とか姿勢の良い体型にしたいと頑張っています。



山下 量三さん 昌代さん (下来島)

私の家では、「たけひめ号」の他に2頭の牛がいます。今は年寄り2人で世話をしていますが、年を取ると身体が言うことを聞かなくなると、苦労も多くなりました。

世話は大変ですが、牛は子どもの頃から当たり前のようになっています。いつも会話をしながら体を磨くのが楽しみで、朝夕は家の周りを歩かせるのが日課になっています。

せっかく代表牛に選んでいただきましたので、本番まで精一杯やりたいと思います。



頓原肥育センター 場長 柳生 武さん

頓原肥育センターでは、約220頭の牛を飼育しており、現在は3人のスタッフで毎日世話をしています。

5年前も、この施設から全共に出品しているので、ある程度の経験はあります。ただ、出ることの大変さを知っている分、前回以上の大きなプレッシャーを感じています。

私たちの仕事は、全共に出ることだけが目標ではありませんが、そこで結果を出せれば、仕事をできたことへの誇りにつながりますので、一生懸命に取り組んでいます。

## 飯南の和牛



この地域は、古くから畜産が盛んな地域として知られています。特に和牛は、農業の際の労働力として貴重な存在であったため、江戸時代から牛市が開かれ、中国地方の各地から人々が牛を買い求めに来るほど盛況でした。近年、和牛は労働力ではなく「食肉」として親しまれています。飯南町の和牛肉が、全国の有名なブランド肉にも負けないくらい美味しいのは、皆さんもご存知ではないでしょうか。

## 町の考える和牛振興

今年度の重要課題の一つとして、産業の振興を挙げており、飯南町の特性から、産業の中心は農業であると考えています。和牛に関しては、高齢化や後継者不足により飼育戸数・飼育頭数とも減少傾向にあります。町内産業の中では、依然として大きなウエイトを占めています。

関係機関においては、飼育管理

の軽減を図るために放牧を研究し、受精卵移植技術による増頭の取り組み等が実施されています。

町は現在、新規就農者への支援事業を行っています。集落営農による和牛飼育など、即効性のある対策も必要だと考えています。今後は、関係者の意見を参考にしながら、現状に合った新たな和牛振興を目指していきます。

7/29(日)

# 飯南ヒルクライム2007

中国地方最大級の規模で開催

自転車競技で、山や丘陵の坂をひたすら上るレースのことを「ヒルクライム」といいます。今回行われた「飯南ヒルクライム2007」は、琴引フォレストパーク付近から、13km先の大万木山中腹(高低差600m)を目指す過酷なレースです。飯南町でレースが行われるのは、今年が初めてでしたが、全国から自転車愛好家112人が参加して、盛大に開催されました。

この競技は、ほとんどが上り坂のため、事故の危険性は低いのですが、体力的にはかなりきつく、どの選手も顔を歪めながらペダルを漕いでいました。ただ、待ち構えるゴールと大万木山からの絶景が、選手に大きな達成感を与えていました。主催のNPO法人サイクリストビュート、地元の関係者やボランティアが協力して行われたこの大会は、飯南町の自然を生かした新しい形のイベントとして、今後開催されることが期待されます。



7/20(金)

## いのししカレーが県庁の食堂に登壇

鳥根県庁では、毎月1回「しまね・ふるさと食の日」を開催されています。今回は「飯南町の日」として、グランディア赤名峠の「いのししカレー」が、1日限定で食堂のメニューに加わりました。

販売開始とともに、食堂には長蛇の列ができ、用意されたカレーはあっという間に完売しました。

この日は、カレーを作った照沼英則シェフ(元ホテル日航東京総料理長)が、自ら盛り付け



を担当し、いのししカレーのPRに一役買われました。

## 憧れの甲子園に大興奮

### 近畿赤来会交流企画「夏の甲子園を見に行こう！」

出身者会である近畿赤来会の主催により、赤名小・来島小の5・6年生を対象とした交流事業が実施されました。

この企画は、近畿赤来会の皆さんが、故郷に住む子どもたちと交流を深めると共に、「夢や感動を与えよう」という思いから始められたものです。4回目となる今回のツアーには、児童17人の参加がありました。



炎天下の中でしたが、児童は甲子園で高校野球を観戦し、海遊館(大阪市)を見学するなど、楽しい夏休みを過ごしました。

7/15(日)

## 雲南管内消防操法大会(雲南市) 島根県消防操法大会(益田市)

ことを目的として、毎年消防操法大会が開催されています。今年(第5分団(上米島))が、小型ポンプ操法の部に出場し、消防用器具の取り扱いと、消火までの迅速かつ的確な動作を競いました。

各市町村の消防団が集まる中、上位入賞はなりませんでしたが、数カ月前から取り組んできた訓練の成果を、十分に発揮していました。



洗練された見事な操法を披露

## 今年も峠の石碑も再掲

### 銀山街道草刈り清掃

「銀山街道応援団」の呼びかけで、今年も有志による旧赤名峠国道の清掃が実施されました。活動には、今年も約40人の参加があり、上赤名の旧道入口から峠までの道が、見違えるようになりきれいになりました。

清掃活動終了後、県境付近で「銀山街道を訪ねる会」による石碑の除幕式が行われました。この式は、以前あった木柱を再現しようと、同会によ



つて再現されたものです。三次市によって復元された石碑と、並ぶように建てられており、2つの石碑が並ぶ様子からは、街道が残す深い歴史を感じさせられます。

地域の皆さんや帰省客で賑わう夏祭りが、7月下旬から8月上旬にかけて、町内各地で開催されました。

それぞれの祭りには地域独特の雰囲気があり、皆さんは踊りや歌を楽しみながら、家族や友人と楽しいひとときを過ごしていました。

## 8/5(日) 八神ふる里夏祭り



7/28(土)

## とんぼらふる里夏祭り



## 夏祭り

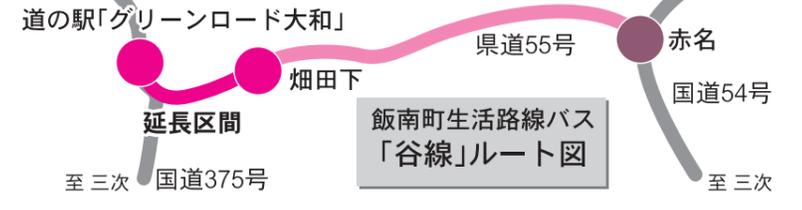
町内各地が祭りで賑わう

## 小田夏祭り

8/4(土)



## 生活路線バスが美郷町へ乗り入れ開始



飯南町生活路線バスの谷線（赤名→畑下）が、9月1日から道の駅「グリーンロード大和」（美郷町長藤）まで、ルートを延長することになりました。

これは、飯南高校や飯南病院への通学・通院等の利便を図るとともに、地域に住む方の生活・福祉向上を目的としています。

町は、今後も皆さんの意見・要望を参考にしながら、より良いバス運営に努めていきます。

※ルートの延長により、「谷・赤名・頓原線」の時刻表は修正します。

詳しくは、各停留所または公共施設等に備え付けの時刻表でご確認ください。

■お問い合わせ  
 住民課町民生活担当  
 TEL 76・2213

## 行革推進委員を任命



8月2日、行政改革推進委員会を開催し、新たに推進委員を任命しました。

町は、18年2月に同委員からの答申を受け、同年3月、「飯南町行政改革大綱」を定めました。

町の財政健全化を目指すには、大綱の見直しを含めた抜本的な改革が必要なことから、同委員会には今後、様々な意見をいただきます。

## 飯南町誇りづくり推進委員会を設立

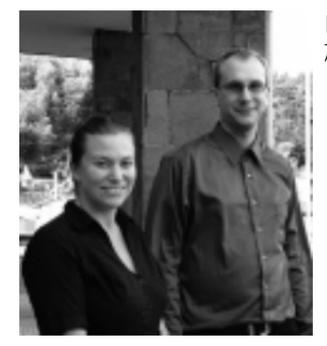


町の主要プロジェクトのひとつ「飯南町誇りづくり事業」を推進するために、推進委員会を設立し、7月17日に委員22人が出席して、会議を開催しました。町からは、事業説明と今年度の実施計画「花あすそわけ運動」「マイバッグ運動」の2つの取り組みを提案しました。

同委員会は、新たな試みとして女性のみで構成しています。女性の積極的なまちづくりを推進していきます。

今後は同委員会を中心に、自治区をはじめ住民の皆さんにも事業への理解と協力を得ながら、積極的に事業を推進していきます。

## 2人のALTが着任



新しい2人のALT（外国語指導助手）が、飯南町に着任しました。

新ALT  
 クリストファー・アダム・リリア（アメリカ出身・赤来中勤務・右）  
 マディー・ストックフォード（ニュージーランド出身・頓原中勤務・左）

マイケルさん、シグニーさんが離任  
 7月31日付けで、マイケル・マンガスさんとシグニー・ラリッシュさんが、1年間のALT任期を終了しました。

## ふるさとを築いた人々

### 土屋文晴

その10

土屋文晴は、頓原の町にある土屋家に生まれ、代々の家業である医者を継ぎました。

文化11年（1814）5月、文晴は山間部の経済発展に資するべく、神戸川・斐伊川に川舟を通行させ、山間部の物資を松江や杵築（出雲市大社町）の市に供給する計画を立て、当時の松江藩家老、朝日丹波保定に建言書を送りました。

文晴は、江の川流域へ往診に行った際、舟が川を行き来するのを見て、荷や人の運搬に大いに利用されているのを知りました。

「軽枯船と申すは軽くして水上の取返し能故に此船を軽枯船と号し、浪を割ること鳩之胸反の如く而して浪を割つて通うに、いか様の早瀬急流之浪間、岩石之脇にても通う事、水鳥之船の如し」と、文晴の表現からは、江の川を通行する

川舟に対する驚きが伺われます。

文晴は建言書の中で、江の川で利用されている川舟を「軽枯船」「かんこ船」と表記しています。江戸時代、江の川で使用されていた舟には大型のものから、「高瀬舟」「渡船」「作船」「かんこ船」がありました。かんこ船は、小型の漁用の船を指すといわれていますが、文晴は神戸川などに浮かべる船を「長さ8メートル、幅およそ1メートル、積載量およそ4000キログラム」とし、高瀬舟に匹敵する大型船を想定しています。

文晴の提案は、11項目からなる大変詳しいものです。神戸川・斐伊川にある急流、難所や水量などを調査し、荷を積む場所などを具体的に示しています。また、船の構造の研究を行い、実際に「軽枯船」の模型を制作し、建言書に添えて松江藩へ送りました。

江戸時代、三刀屋以北の斐伊川や高瀬川などにおける川



江の川（三次市）を行き来する高瀬舟

早瀬乗  
 岩間を通ふかんこ船  
 御代もさかふる  
 基ひ成るべし

## イベント情報

### 出雲空港「空の日」イベント

国土交通省航空局では、毎年「空の日」のイベントを全国の空港で開催しており、出雲空港では次の日程で開催します。

■開催日 9月23日（日）  
 ■会場 出雲空港

ヘリコプターのデモフライト、訓練デモンストラーション、親子航空教室、乗務員制服着用記念撮影会、神楽・よさこい踊り等の演技、各種展示など

■お問い合わせ  
 「空の日」実行委員会  
 TEL 0853・72・0129



### むし@きかくてん



昆虫は、世界中で100万種以上いるとされ、地球上で最も種類・数の多い生物です。この企画展では、様々な形態や生態をもつ昆虫を、生体・標本展示や大型模型を使って紹介しています。

■期間 9月2日（日）まで  
 ■会場 三瓶自然館サヒメル  
 ■お問い合わせ  
 三瓶自然館サヒメル  
 TEL 0854・86・0500

## 志々地区 合同体育大会

さつき保育所、志々小学校の運動会も合わせた、賑やかな体育大会です。

■開催日 9月23日（日）  
 ■会場 志々山村広場  
 ■お問い合わせ  
 自治振興課志々地区担当  
 TEL 73・0001

- ① 当日、体調が悪いと思ったら、必ず医師に相談しましょう。
- ② 自分が受ける予防接種について、事前に内容をきちんと確認し、分からないことは受ける前に質問しましょう。
- ③ 予防接種は、担当医師にとって

## 予防接種を受ける際の注意

効果的なワクチンの接種  
 予防接種には、ワクチン(予防接種液)を使います。これは、感染症の原因となるウイルスや菌・細菌が作り出す毒素を弱めて作ったものです。それを体に接種すると、その病気に対する免疫抵抗力ができます。ただ、体質や体調などによって、免疫ができないこともあります。子どもの予防接種では、免疫の遅いこともありますが、医師に相談してみましよう。



## 予防接種

飯南町では、様々な予防接種を毎年定期的に実施しています。  
 予防接種は、皆さんの健康を守るための、大切な医療行為です。皆さんが知識を深めていただくことで、より効果的な予防が可能になります。

④ 子どもの予防接種は、日頃の状態をよく知っている保護者の方が連れていきましよう。



大切な情報になります。正確に記入してください。

▽接種後、30分間は副反応が起きないか病院で様子を見て、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。  
 △副反応としては、アレルギー・発熱・接種部位の腫れ等があります。アレルギーのような急な副反応は、接種後の30分間に起こることがあります。

▽接種部位は清潔に保ちましよう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることやめましよう。  
 △接種当日は、激しい運動を控えましよう。

お問い合わせ・申込み先 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

## 私たちの地域を紹介します

第16回

# 獅子

22世帯・61人



私たちの地域は、戸数が22戸で、飯南町の中で最小規模の地域です。そのため、様々な活動の際は、地域の皆さんが総出で取り組むため、一体感が強いのが特徴です。  
 今後も、現在のまともりを維持強化し、小規模でも「きらりと輝く地域」を目指して活動していきたいと考えています。

### 元氣な獅子の団体 SSC

このグループは、働き盛りの有志11人で構成されています。泥落しやとんど祭等の企画・協力、ホッピー祭・コスモス祭への出店など、積極的に活動しています。



### 風土記に残る「志々乃村神社」



八神連担地にある「志々乃村神社」は、「出雲風土記」によると、明治40年までは獅子にあつたことが記されています。この御祭神は奥津島比売命で、九州宗像大社三神の一番上の姉神様です。

昔はこの地で砂鉄が採れたため、宗像地方から職人が移り住み、ふるりの神を祀りました。そのため、この女神は海上守護・交通安全の神として崇められてきました。

### 地域のみんなが集まる 青空市

地域の中心にある青空市「獅子の里まごころ市」には、地元で採れた新鮮な野菜が並んでいます。

野菜が売れることももちろんですが、地域のみんなが集まるための井戸端会議が、なにより「元氣の源」になっています。

## こんにちは中山間地域研究センターです

### 中国山地自然環境学習講座

## 「わが町の銀山街道」を開催します

日時 ● 9月12日(水) 14時~16時  
 会場 ● 島根県中山間地域研究センター (大会議室)

「石見銀山とその文化的景観」が世界遺産に登録されましたが、飯南町も、かつては銀の輸送ルートになっていたことはご存じでしたか。  
 中山間地域研究センターでは来月、世界遺産登録を記念して、石見銀山と銀山街道に関する講演会を開催いたします。

石見銀山資料館から講師来訪

石見銀山の反映と衰退、石見銀山が果たした役割、何が世界遺産として評価されたのかなど、石見銀山資料館の館長をお招きして、初心者にもわかりやすくお話をさせていただきます。

町内の見どころも紹介

飯南町教育委員会からは、下赤名の古建築解体プロジェクトの報告と、町内の銀山街道を中心に、意外と知らなかった地元の名跡と歴史についてお話しします。

### 参加お申し込み

参加は無料ですが事前申し込みが必要。詳細については、お電話いただくか、中山間地域研究センターホームページをご覧ください。



下赤名の古建築

桑を利用した機能性食品 開発セミナー開催  
 開催日 ● 9月21日(金)

# 国民健康保険料が 確定しました

平成  
19年度

4月から7月まで仮算定賦課していましたが、国民年金保険の保険料は、前年の所得の確定により本算定保険料を決定しました。

そのため、8月からの納付保険料は、4月から7月までに納付いただいた額とは異なります。

8月からの保険料額は、本算定により確定した年間保険料額から、4月から7月の仮算定額を差し引いた残りの額を、来年3月まで8期に分けて納めていただきます。

## 所得割

被保険者全員の前年(平成18年)の総所得を基に算定します。

## 資産割

被保険者の本年度(平成19

年度)の固定資産額を基に算定します。

## 被保険者均等割

被保険者一人ひとりに対して均等に賦課します。

## 世帯平等割

被保険者の世帯に賦課します。(表1)

## 保険料の限度額

基準保険料率により算定した年間保険料額が、限度額を超えるときは、次の額を限度とします。(表2)

表1 【国民健康保険料率】

	医療分	介護分
所得割	9.45%	1.46%
資産割	41.09%	10.61%
被保険者均等割	26,772円	8,334円
世帯平等割	20,713円	4,504円

表2 【保険料限度額】

	医療分	介護分
限度額	560,000円	90,000円

# お知らせ INFORMATION

平成19年度

## 飯南町住民提案型事業 2次募集 受付開始

「飯南町住民提案型事業」は、地域資源を活かした新たなコミュニティビジネスや、地域活動の事業化など、地域課題の解決に向けた積極的な取り組みを支援しようと、昨年度から行っています。

皆さんから地域の特性を生かしたアイデア溢れる事業の提案をお待ちしています。

## 企画・研究部門

(助成率10分の10、最高10万円)  
住民自らが実施するまちづくり事業に関する調査・勉強会の開催・計画づくりなど  
【H18実績】 地域マップ作成  
竹の子集荷体制の確立

## 実践活動部門

(助成率8分の10、最高50万円)  
まちづくりに熱意やアイデアをもつ住民が自主的に企画実践する事業  
【H18実績】  
「銀山街道」ポランテア養成事業、山野草園の開設、賀田城山セラピーロード整備事業、日本酒醸造事業、乾燥竹の子の製造販売

申込締切 9月28日(金)  
その他  
応募にあたっては、対象者や経費について一部制限がありますので、募集要項等をご確認のうえ、審査申込書を出してください

お問い合わせ  
自治振興課  
頓原地区担当 72・0311  
赤名地区担当 76・2212  
来島地区担当 76・2393  
志々地区担当 73・0001

## 飯南町銀山街道 ウォーキングイベント 参加者募集

江戸時代、石見銀山から上納銀が運ばれた街道が、飯南町には残っています。

このイベントでは、街道に残る史跡や周辺の里山を訪れ、当時に思いを馳せながら、街道を通じて様々な交流の輪が広がることを期待しています。

ガイドの案内を聞きながら、街道を一緒に散策してみませんか。

開催日時  
10月7日(日) 9時~13時

募集人数 200人  
参加費 1000円  
弁当代・保険料込み

コース  
境木標柱(美郷町) 下赤名の銀山街道 赤名宿 赤穴八幡宮 赤名農村環境改善センター(約4キロ)

問合せ・申込先  
飯南町実行委員会事務局(教育委員会) 72・0301

## 恩給欠格者・戦後強制抑留者・引揚者の皆様へ

特別慰労品を贈呈する事業が始まりました

請求期間  
平成21年3月31日まで

請求できる人  
ご本人(ご遺族は請求できません)

請求方法  
役場各窓口(備え付けの請求書類をご記入の上、次の請求先へ送付してください)

問い合わせ・請求先  
〒163-0231  
東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル  
平和祈念事業特別基金  
特別祈念事業担当  
無料電話0120-234-933

## あなたの命にかかわる速報です

## 緊急地震速報が

## 10月1日スタート

「緊急地震速報」は、地震による強い揺れを、気象庁から事前にお知らせする新しい情報です。

10月1日から、皆さんに様々な形で情報提供を開始します。

緊急地震速報のしくみ  
地震の発生直前に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。そして地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、素早くお知らせする新しい情報です。

震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

速報の受け方  
震度5以上が推定される場合に、テレビ・ラジオを通じて速報が受けられる予定です。

インターネットやCATV回線などを利用して、パソコンや専用端末に伝達するサービス、揺れの大きいエリアに



いる携帯電話ユーザーに一斉同報配信するサービスも予定されています。

お問い合わせ  
松江地方気象台防災業務課  
0852-223784  
気象庁ホームページ  
http://www.jma.go.jp

## 谷出張診療所の 診察日を変更します

来島診療所における人間ドック、検診事業等の充実を図るため、谷出張診療所の診察日を、次のとおり変更します。

診察日時 毎週火曜日  
お問い合わせ  
来島診療所 76・2309

## 森林セラピー ガイド 養成講座 受講者募集

この養成講座では、森林セラピーに関する様々な知識を身につけ、森林セラピーツアーのガイドとして活躍いただけます。

開催期間 9月~11月(予定)

講座の内容  
基礎講座  
・森林セラピーの基礎知識  
・メンタルヘルス演習  
・普通救命講習等  
・自然体験活動  
・運動方法  
・アロマセラピー

受講方法  
町ホームページまたは役場各窓口(備え付けの申込書)にご記入の上、政策推進課へ提出してください。

申込期限 8月31日(金)  
問合せ・申込先  
飯南町森林セラピー推進協議会(政策推進課)  
76・2214

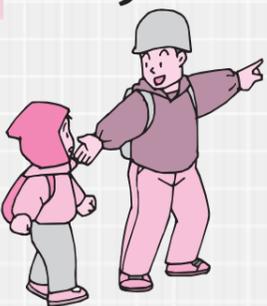
## やすらかに 7月届出分

お名前 親族 地区  
難波 忠義様(54) 博貴(下赤名)  
影山 さな江様(55) 道人(下赤名)  
戸谷 助則様(92) 和正(長谷)  
竹田原 ミツコ様(95) 護(野宮)  
高橋 定雄様(87) 満(下赤名)  
加瀬部 忠仔様(91) 昌史(下赤名)

## 今月の表紙

頓原公民館と来島公民館がそれぞれ企画したキャンプに、頓原小・来島小の児童が参加していました。大自然の中、みんなでゲームや星空を観察し、テントや食事の準備をするなど、子どもたちにとって、普段の生活にない貴重な体験となったようです。

ファイナダー越しに見る子どもたちは、少しはしゃぎすぎて疲れている様子でしたが、笑顔の中にある瞳には、忘れられない夏の日の1ページが写っているようでした。



# まちのスケジュール

小さな田舎からの「生命地域」宣言 いのち彩る里 飯南町

広報いinan 8月号

町の人口5,923人(前月比+10人) 男性2,801人 女性3,122人  
世帯数2,169戸

日	月	火	水	木	金	土
8/26 * 町民体育大会 (赤名:赤名小グラウンド) (来島:来島小グラウンド) (頼原:頼原町民グラウンド) (谷:谷体育館前グラウンド) * 志々地区体協ソフトボール大会 (志々山村広場)	8/27 * おしゃべり広場 (さつき会館)	8/28 * 胃がん検診 (来島保健センター)	8/29 * 軽体操 (赤名改善センター)	8/30 □ 飯南高鵬雲祭 ~9月1日 □ 小中学校始業式	8/31	1 □ 保育所奉仕作業 (さつき・赤名・来島)
2	3 * スマイルりんご (来島保健センター) * 結核肺がん検診 (志々地区)	4 * 結核肺がん検診 ~5日(頼原地区)	5 □ 赤名小夏休み作品展 ~7日(赤名小)	6	7 □ 赤名小授業公開日	8 □ 頼原中体育祭 □ 赤来中体育祭
9	10 * おしゃべり広場 (保健福祉センター) * 行政相談 (さつき会館)	11 * 胃がん検診 (頼原地区)	12 □ 志々小授業公開日 * 軽体操 (保健福祉センター)	13 * ポリオ生ワクチン 投与(保健福祉センター)	14 □ 頼原中弁論大会	15 □ 頼原小なかよし運動会 * 敬老会 (赤名改善センター)
16 □ 来島小運動会	17 敬老の日	18 * 軽体操 (来島基幹集落センター) * 飯南町畜産共進会 (畜産センター)	19 * 胃がん検診 (谷コミセン)	20 □ 中高合同清掃活動 (国道54号沿道) * スマイルりんご (来島保健センター)	21 □ 桜ヶ台保育所 交通安全パレード	22 □ 赤名保育所運動会 □ 来島保育所運動会 □ 桜ヶ台保育所奉仕作業 * 子ども活動 (来公:基幹集落センター)
23 秋分の日 □ 赤名小運動会 * 志々地区合同体育大会 (志々山村広場)	24 振替休日	25	26 * 軽体操 (赤名改善センター)	27 □ さつき保育所 交通安全パレード	28	29 □ 桜ヶ台保育所運動会 ・地域開放日
30	10/1 * スマイルりんご (来島保健センター)	10/2 □ 頼原小フリー開放日 ~4日	10/3	10/4	10/5	10/6

□教育 \*健康・保健 \*文化・体育 \*その他



決められた日時をお守りください

し尿汲取り日	
汲取り地区	汲取り日
頼原	7日 9日 27日 29日
志々	12日 14日
赤名	2日 4日 22日 24日
来島	17日 19日
谷	4日 24日

\*汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資源物	
収集地域	収集日
頼原	19日(水)
赤来	26日(水)

		金属類・粗大物	ガラス類
収集地区	収集日	収集日	収集日
頼原連坦地	25日(火)	10日(月)	
八神連坦地	27日(木)	12日(水)	
志々・頼原の連坦地以外	26日(水)	11日(火)	
赤名連坦地	18日(火)	3日(月)	
来島連坦地	20日(木)	5日(水)	
赤名・来島の連坦地以外	19日(水)	4日(火)	